

1 次の「言葉の単位」について説明したものを後から選び、記号で答えよう。

- ① 文章 () ② 談話 () ③ 段落 ()
 ④ 文 () ⑤ 文節 () ⑥ 単語 ()

ア 発音や意味のうえで不自然にならないように、文をできるだけ短く区切ったまとまり。

イ 「何(だれ)が―どうする・どんなだ・何だ・どうしたい・どうしろ」など、一まとまりの内容を表す一続きの言葉。最後に句点を付ける。疑問符や感嘆符を付ける場合もある。

ウ 一編の論説・小説のように、一まとまりの内容を、文字で書き表したものの。多くの場合、複数の文が集まってできている。

エ 言葉の意味や働きを壊さないように、文節をさらに細かく分けたもの。文法上、意味や働きをもつ言葉としては、最小の単位である。

オ 日常の会話など、音声で表された一まとまりの内容。多くの場合、複数の文が集まってできている。

カ 書き手が、意図をより明確に伝えるために、文章を内容のまとまりごとに区切ったもの。

2 次の文章に句点を打とう。

天気予報によると明日は雨になるそうだそうすると楽しみにしていた登山は延期になるかもしれないテレビを見ながら私はため息をついた

3 「例」にならって、次の文を文節に区切ろう。

〔例〕私 は／静かな／部屋で／本を／読む。

- ① 小説家になることが兄の夢だ。
 ② 食卓の上に小さなみかんが二つある。
 ③ 図を示しながら丁寧に説明した。
 ④ この梅の木は毎年たくさん実を付けます。
 ⑤ 三時から文化祭の準備を行うそうだ。
 ⑥ 真夏の太陽がぎらぎらと照りつける。

4 「例」にならって、次の文を単語に分けよう。

〔例〕私・は・静かな・部屋・で・本・を・読む。

- ① クロールの息つぎのしかたを練習する。
 ② 桜の花びらがひらひらまい落ちる。
 ③ 校庭から子供たちの笑い声が聞こえる。
 ④ 豊かな自然を守ることは我々の務めだ。
 ⑤ 君とかわした約束を決して忘れない。

1 次の「言葉の単位」について説明したものを後から選び、記号で答えよう。

- ① 文章 (ウ) ② 談話 (オ) ③ 段落 (カ)
 ④ 文 (イ) ⑤ 文節 (ア) ⑥ 単語 (エ)

ア 発音や意味のうえで不自然にならないように、文をできるだけ短く区切ったまとまり。

イ 「何(だれ)が―どうする・どんなだ・何だ・どうしたい・どうしろ」など、一まとまりの内容を表す一続きの言葉。最後に句点を付ける。疑問符や感嘆符かんだんを付ける場合もある。

ウ 一編の論説・小説のように、一まとまりの内容を、文字で書き表したものの。多くの場合、複数の文が集まってできている。

エ 言葉の意味や働きを壊さないように、文節をさらに細かく分けたもの。文法上、意味や働きをもつ言葉としては、最小の単位である。

オ 日常の会話など、音声で表された一まとまりの内容。多くの場合、複数の文が集まってできている。

カ 書き手が、意図をより明確に伝えるために、文章を内容のまとまりごとに区切ったもの。

2 次の文章に句点を打とう。

天気予報によると明日は雨になるそうだ。そうすると楽しみにしていた登山は延期になるかもしれない。テレビを見ながら私はため息をついた。

3 「例」にならって、次の文を文節に区切ろう。

〔例〕私 は／静 かな／部 屋 で／本 を／読 む。

- ① 小説家に／なる／ことが／兄の／夢だ。
 ② 食卓の上／に／小さな／みかんが／二つ／ある。
 ③ 図を／示しながら／丁寧に／説明した。
 ④ この／梅の／木は／毎年／たくさん／実を／付けます。
 ⑤ 三時から／文化祭の／準備を／行うそうだ。
 ⑥ 真夏の／太陽が／ぎらぎらと／照りつける。

4 「例」にならって、次の文を単語に分けよう。

〔例〕私・は・静 かな・部 屋・で・本・を・読 む。

- ① クロール・の・花びら・が・ひらひら・まい落ちる。
 ② 桜・の・花びら・が・ひらひら・まい落ちる。
 ③ 校庭・から・子供たち・の・笑い声・が・聞こえる。
 ④ 豊かな・自然・を・守る・こと・は・我々の・務め・だ。
 ⑤ 君・と・かわし・た・約束・を・決して・忘れ・ない。